

新岩 エリアガイド 【2022年11月8日改訂版】

岩場へのアプローチ

- ・宝塚駅の北東部に長尾山霊園がある。
- ・駐車：長尾山霊園のロータリーを過ぎた先の左側にスペースがある辺りに車を停める。

※道路に対して直角に停めること。

- ・少し霊園のほうに戻ると、右手の自然林の中に細いハイキング道があるのでそれを辿る。200m程度進むとY字型の分岐路があり、右側に進む。

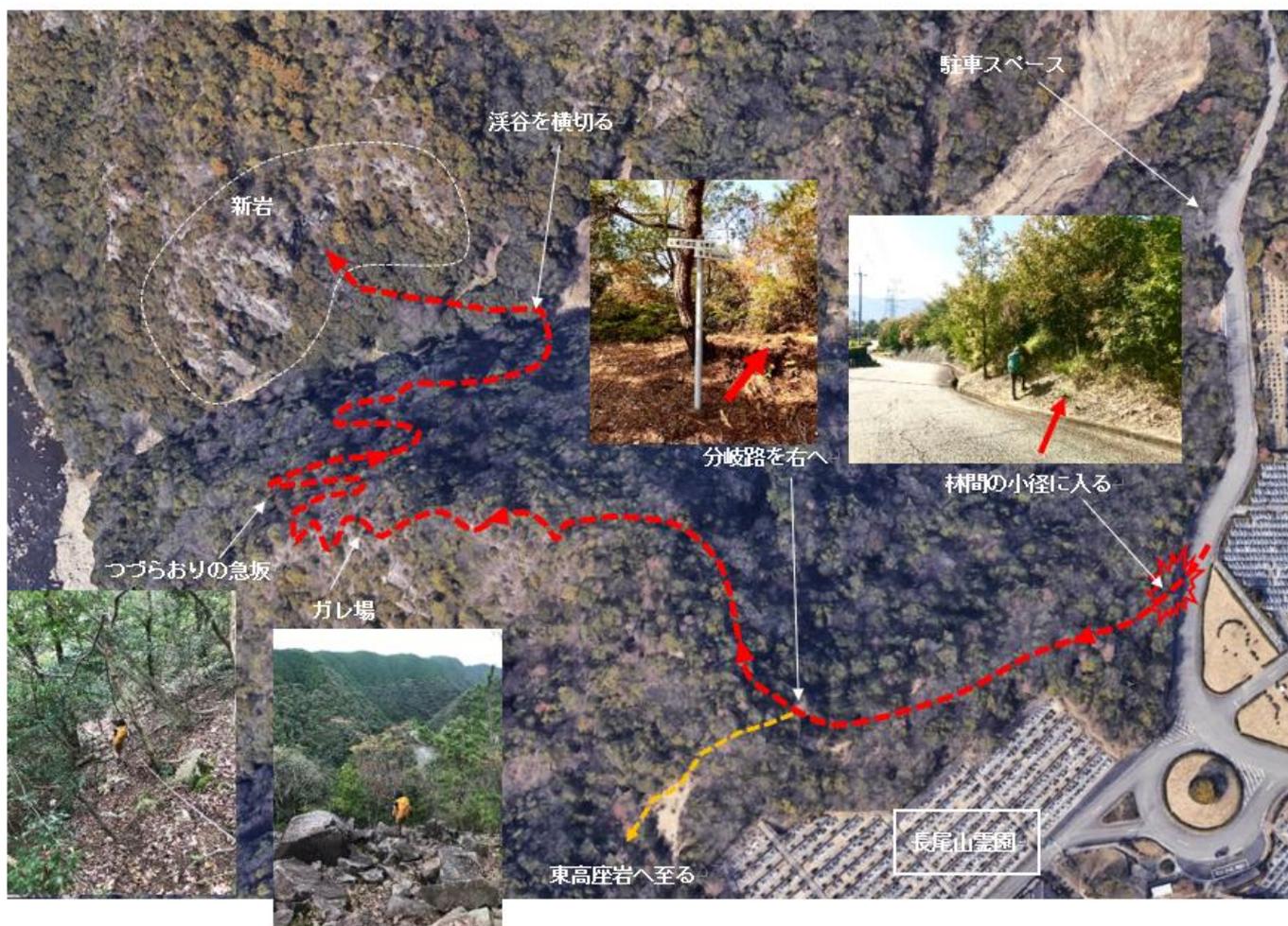
※左に行くと東高座岩

- ・道は次第に下降路となり、展望の開けた場所からガレ場に入る。

- ・ガレ場の末端辺りから右側に入るとフィックスロープがある。林間のつづら折り状の道を行き、フィックスロープで溪谷に降りる。その谷の対岸に

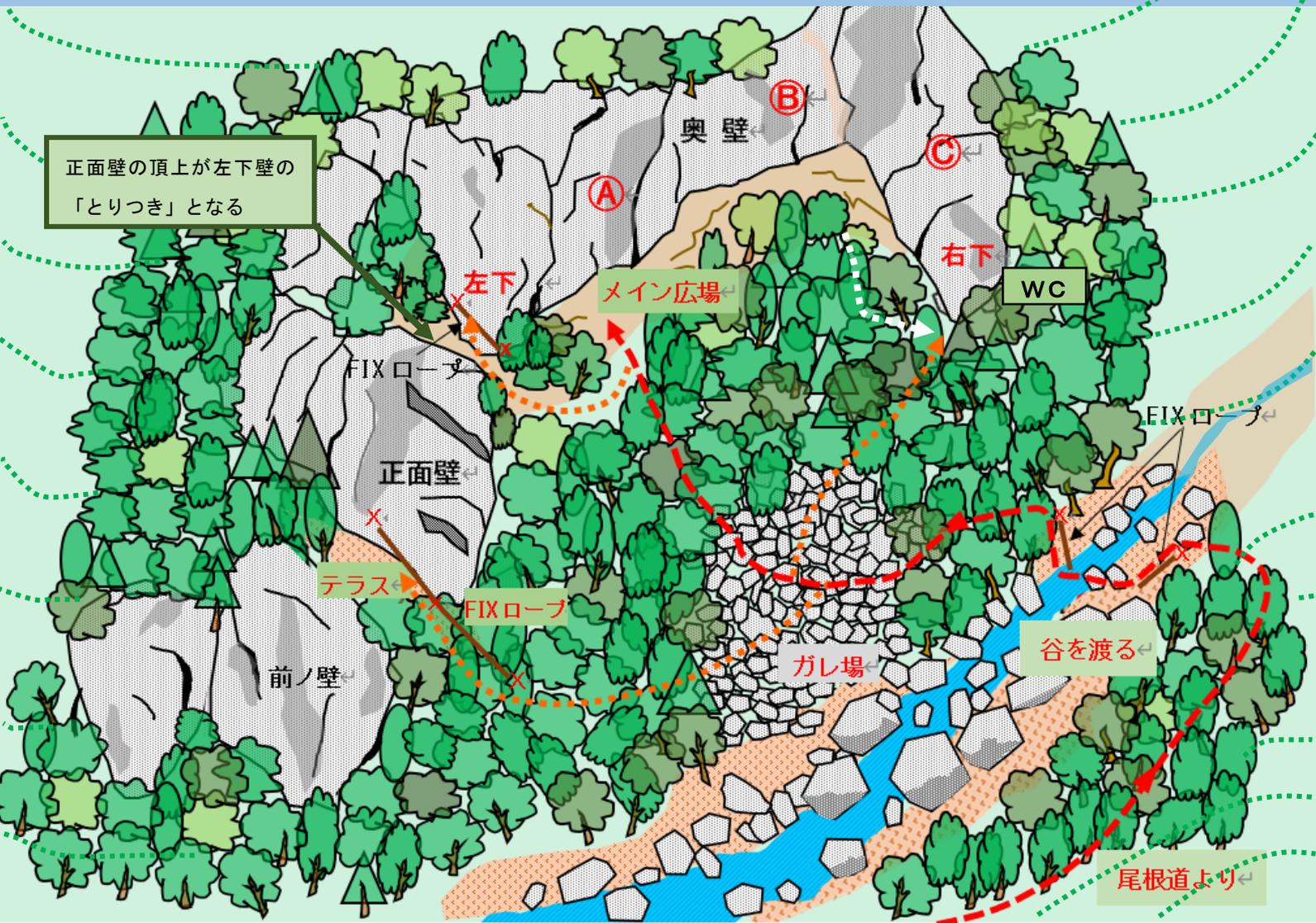
上がり、左手に進むと岩場に至る。

- ・行きは20分、帰りは30分程度。



新岩 ルート紹介

【2022年11月版】（ルートグレードは暫定であり、将来改訂する可能性があります）



エリア紹介

新岩は多数の岩からなる岩壁群であるが、今回開拓したのは「正面壁」及び「奥壁」である。

奥壁

谷を渡ったあと左に折れて、ガレ場を越えてから右側に登って行けば奥壁の「メイン広場」に至る。奥壁はU字型をした岩壁であるが、その左右端の一段下がった箇所にもエリアがある。

奥壁左下エリア

奥壁メイン広場の左側を下る道があり、その先のフィックスロープを辿ると「左下壁」に至る。このエリアは「正面壁」の上部に当たるので、落石を生じることは厳禁とされたい。またエリアの下地は傾斜のあるスラブになっているため、ビレイヤーはセルフビレイをとること。

奥壁右下エリア

メインエリアの右端から下ればエリアに行きつくが、ガレ場から回り込んだ方が歩きやすい。

正面壁

ガレ場からメイン広場方向へ登らずにそのままガレ場を越えていき、谷沿いを辿るとフィックスロープがある。それを上がると正面壁の下部テラスに至る。（ガレ場での滑落に注意すること）

その他

※岩は脆い部分もあり落石の危険があるので、下にいる人は十分注意すること。（ヘルメット着用励行）
※トイレをできる箇所は少ないが、奥壁右下エリアの右奥に岩壁に囲まれて奥まったところがある。

奥壁・左下エリア(スラブ、フェイス)

※既成ルート下部にハンガーを打ち足して終了点を設置したもの。終了点は⑥・⑦共有

⑥ 既成ルートⅠ 5.8 B5本

傾斜もなく、ところどころにしっかりと立てるスタンスがある。登りやすいルート。

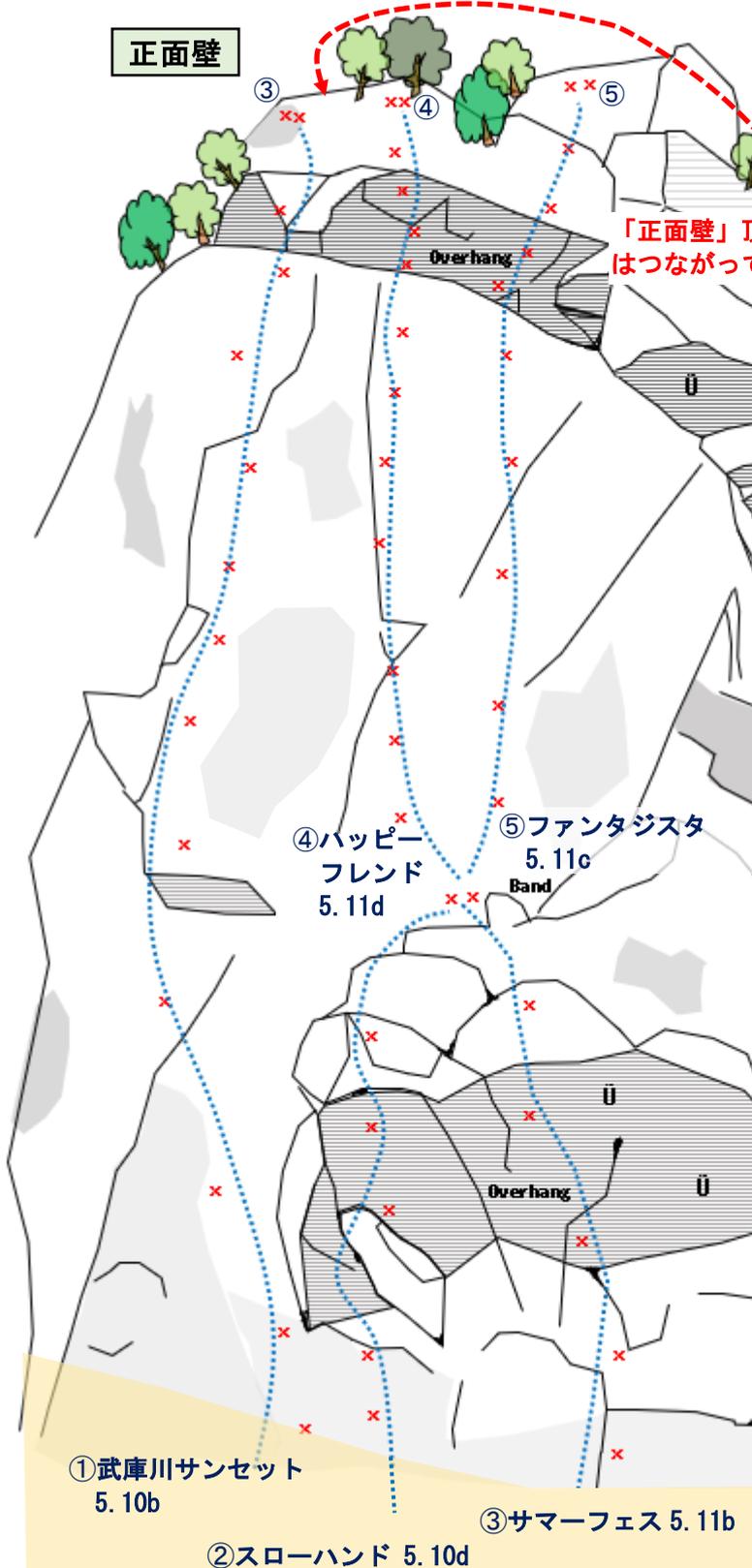
⑦ 既成ルートⅡ 5.10c B7本

下部のボルト2～3本目あたりのホールドが細かいので核心部となる。上部は「ピナクル状の岩」が載ったような地形となり、クラック・クライミング的なムーヴを楽しめる。

奥壁・左下エリア



正面壁



「正面壁」頂上と「左下エリア」はつながっている

⑥既成ルートⅠ 5.8

⑦既成ルートⅡ 5.10c

正面壁エリア(左側はフェイス、右側はルーフ)

① 武庫川サンセット 5.10b B12本 (辻まい)

すっきりとしたフェイスに引かれたルート。昔ハーケンで登られていたルートのリメイク版で最後は楽しいハング越えがある。

※ローダウン時はロープの長さに注意

② スローハンド 5.10d B5本 (東秀磯)

ボルト2本目の上は頭上に張り出したフレークに頭を押さえられる形になり、バランスが悪くハンガーが見にくいので注意。中間部の「左に張り出したフレーク」の処理がカギ。

③ サマーフェス 5.11b B5本 (東秀磯)

逆層状のハングを抜けるルート。下部のスラブは容易。ハングに入ってから一手一手が遠いのでパワーが必要となり、ダイナミックなクライミングとなる。

正面壁2ピッチ目(下部はスラブ、上部はルーフ)

④ ハッピーフレンド 5.11d B11本 (平嶋拓大)

下部のスラブがホールドに乏しく、バランス力が必要となる。上部は思い切りのよいクライミングで解決する。

⑤ ファンタジスタ 5.11c B9本 (木村伸介)

下部はやさしいが、ルーフ上のホールドが全く見えないため、オンサイトがむづかしいルート。

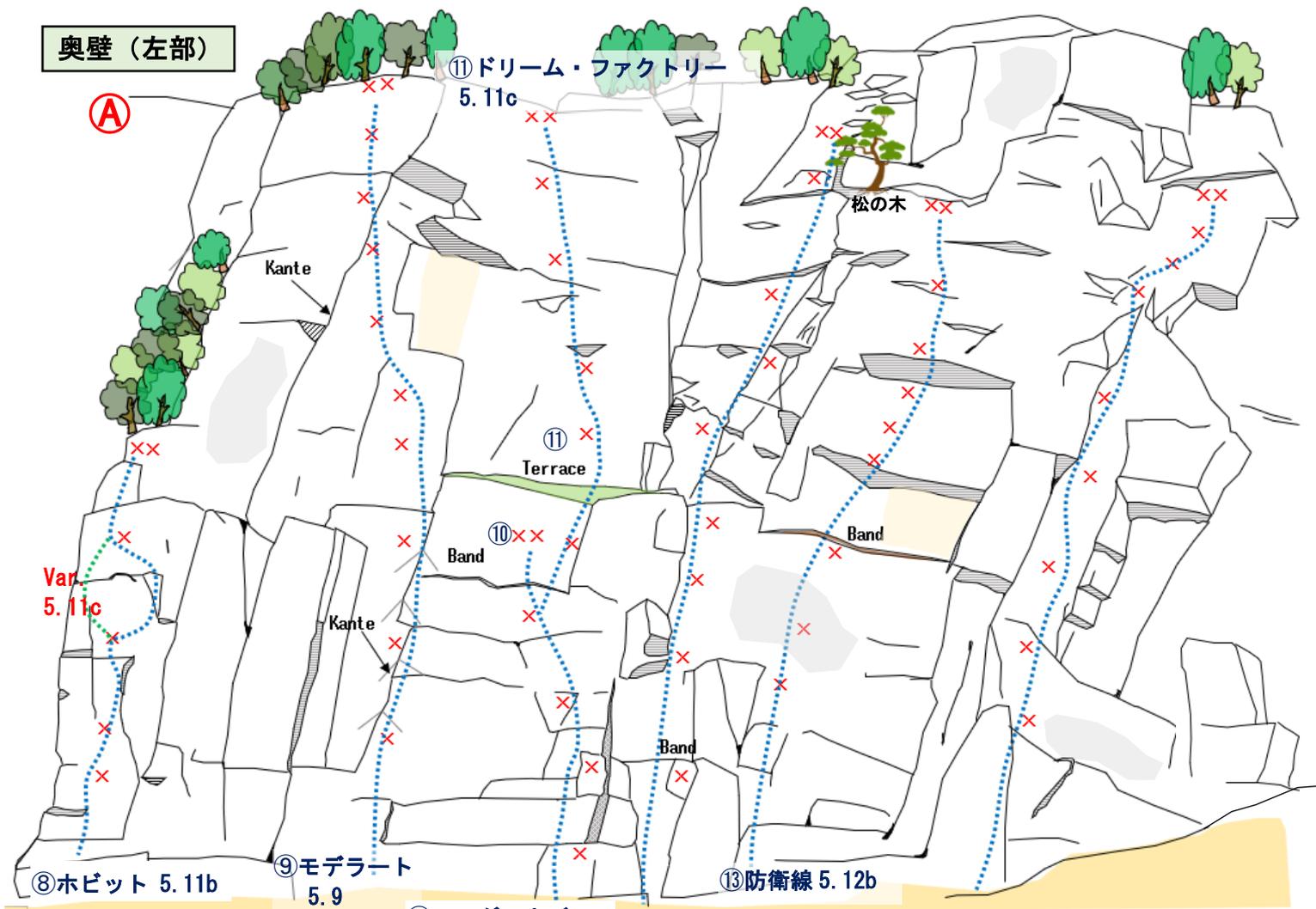
①武庫川サンセット
5.10b

②スローハンド 5.10d

③サマーフェス 5.11b

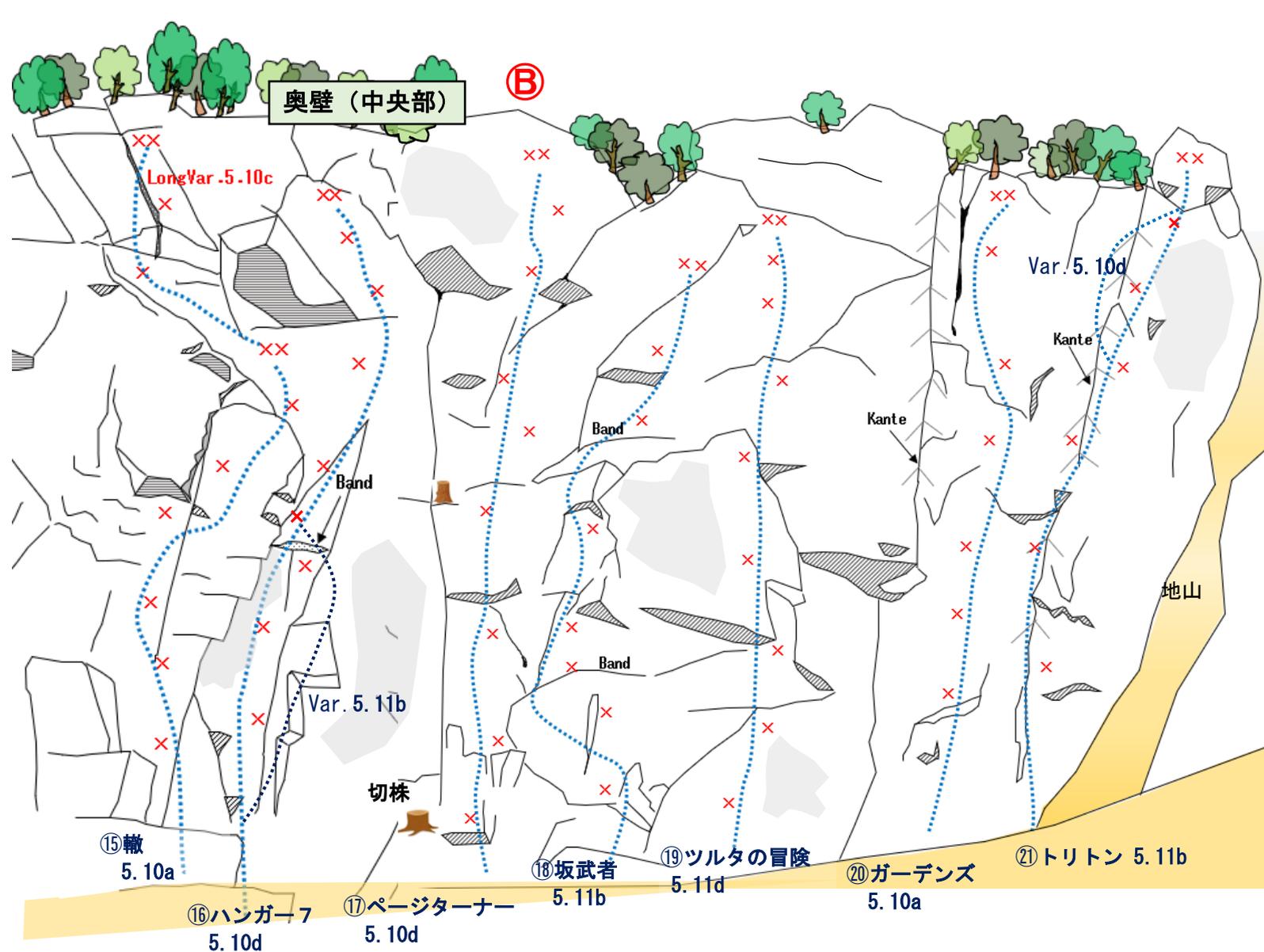
④ハッピー
フレンド
5.11d

⑤ファンタジスタ
5.11c
Band



奥壁 ① (フェイス)

- ⑧ **ホビット 5.11b B 4本** (東秀磯)
 ホールドは大きく見えるものの外傾していて持ちにくいし、遠い部分もある。ボルト3本目から右のガバに行けば5.11bであるが、左のカンテをたどれば5.11cとなる。ルートが短いのでクリップに注意。
- ⑨ **モデラート 5.9 B 9本** (東秀磯)
 カンテの側壁スラブに設定された長いルート。内容・距離共にウォーミングアップに最適。
- ⑩ **アンダーカバー 5.10a B 4本** (東秀磯)
 段状になった地形を登る。手足共にホールドが豊富であるが、意外にバランスが悪くて面白い。
- ⑪ **ドリーム・ファクトリー 5.11c B 5本** (東秀磯)
 緩い前傾壁にあらゆる方向のホールドが適所に点在するエリア1の好ルート。⑩のルートの2ピッチ目であるが、通常は継続する。(この場合、⑩の終了点を使用せず、カンテ側の支点を使う) また⑫のルートを使って途中から入ってもよい。
- ⑫ **羽蝶蘭 5.10b B 8本** (東秀磯)
 見かけはよくないものの、登ってみると内容が濃くて面白いルート。的確なホールドを探せないとグレード通りには登れないためルートファインディング能力も必要とされる。
- ⑬ **防衛線 5.12b B 8本** (東秀磯)
 バンドやルーフ帯など、水平に変化のある地形を登っていくライン。カチ、縦クラック、アンダーカットなどのホールドが垂直または水平に配置されていて、手順を見出すことに面白みがある。
- ⑭ **ブラックサマー 5.10b B 8本** (東秀磯)
 下部はコーナー状になった左壁を使用して登る。最上部では右側に移るのがポイント。(上部の左側は脆いので登らないこと)



奥壁 ⑮ (フェイス、カンテ)

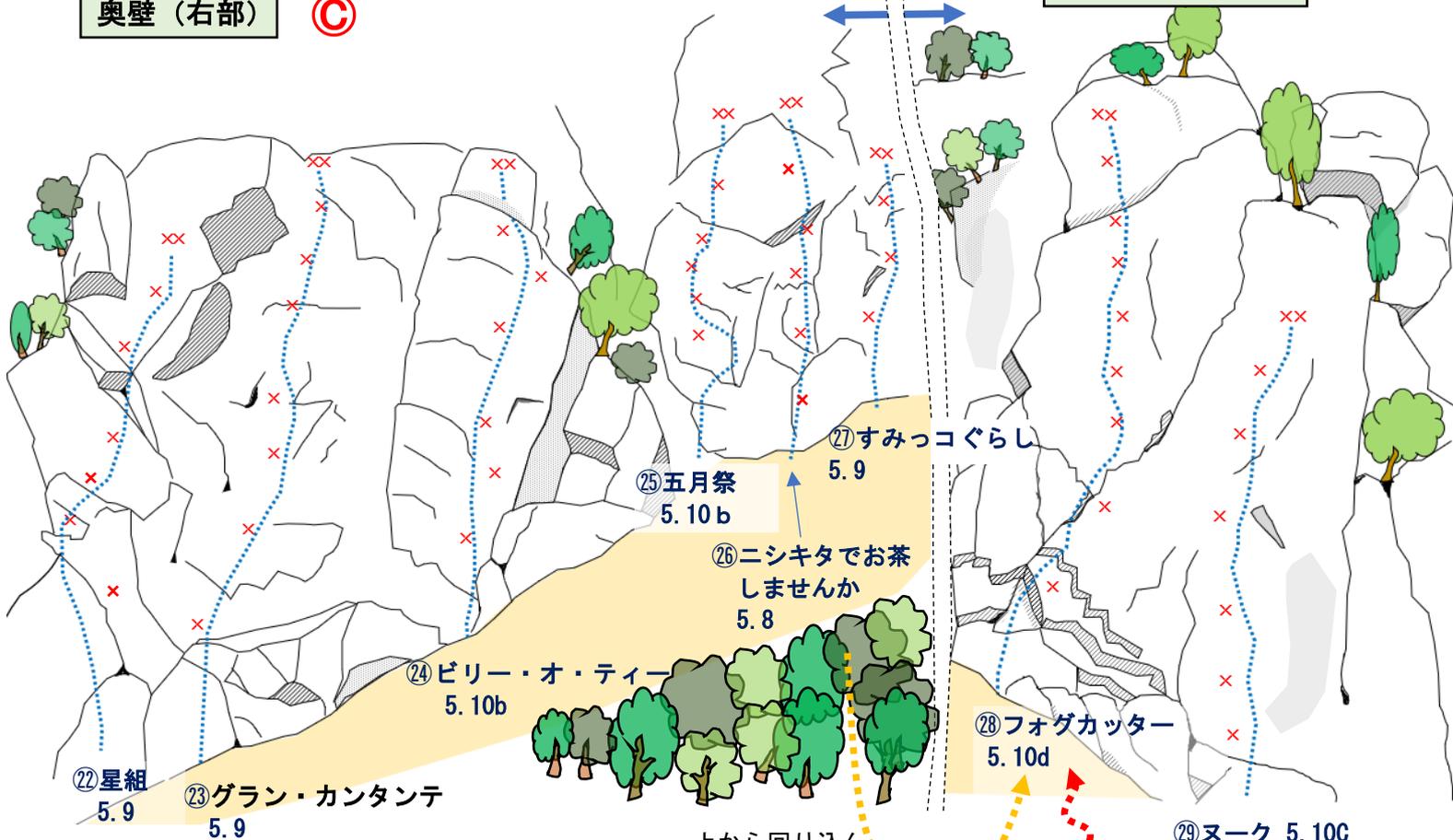
- ⑮ 轍 5.10a B 6本 (long version 5.10c 9本) (東秀磯)
 ルート上の随所にレストできるポイントがあり、ホールドも豊富でやさしい。終了点から左にトラバースしていきハングを越えるロングバージョンはホールドが細かくて難しくなる。
- ⑯ ハンガー7 5.10d B 8本 (東秀磯)
 一見、階段状に見えるルート。出だしや途中でピリッとした部分が出てくる。
- ⑰ ページターナー 5.10d B 8本 (東秀磯)
 出だしは今のところ切株を使わざるを得ない。ところどころに段があって休めるが、段の間には持ちにくいホールドのパートもあり、総合力が試されるルート。3ピン目までカンテの右側を登ると 5.11b。
- ⑱ 坂武者 5.11b B 7本 (東秀磯)
 下部2ピン目をクリップしてから左のフレーク状のカンテを上がる。最上部は左に逃げず最終ピンに沿って登るが、その細かいホールドの処理が核心となる。
- ⑲ ツルタの冒険 5.11d B 8 (野田哲司)
 バリエーション豊富なルート。核心部と緩い傾斜部が交互にあるため、レスト戦略が重要になる。下部の右側は岩が脆いので右に行き過ぎないように。
- ⑳ ガーデンス 5.10a B 6本 (辻まい)
 エリア中央のすっきりしたフェイスを登る。終了点手前は右からでも行けるが、かなり難しくなる。
- ㉑ トリトン 5.11b B 6本 (辻まい)
 見栄えのするカンテにあるルート。切株から左のフェイスに移ってスタートする。ボルト4本目からはカンテの右側を登る。(左に出るラインでは 5.10d)

奥壁（右部）



20mくらい離れている

奥壁・右下エリア



奥壁 © (フェイス)

②② 星組 5.9 B 6本 (東秀磯)

下部は前傾の強い部分 avoiding、左から回り込むように登る。カンテを越えると傾斜が落ちてやさしくなる。

②③ グラン・カンタンテ 5.9 B 7本 (東見和子)

出だしは傾斜が強くて難しく感じる。2ピン目から上はしっかりと持てるホールドを選んでいけばやさしい。

②④ ビリー・オ・ティー 5.10b B 6本 (東秀磯)

3本目の上に棚があるので休める。その上は凹凸の乏しい地形になるのでホールドを見出す力が必要となる。

②⑤ 五月祭 5.10b B 5本 (東見和子)

スタートは左から入って、右側のカンテを回る。ボルト4~5本目が核心でホールドが細くなる。

②⑥ ニシキタでお茶しませんか 5.8 B 5本 (辻まい)

初心者にお勧め。ルート中にホールドが豊富な部分が点在するので、持てるホールドをしっかりと選んでいけばやさしく登れる。

②⑦ すみっこぐらし 5.9 B 3本 (東秀磯)

傾斜はないが中間部ではホールドが乏しくなる。上部はホールド間隔が遠くなるものの簡単な内容。

奥壁・左下エリア (傾斜のあるスラブ)

②⑧ フォグカッター 5.10d B 8本 18m (東秀磯)

関西では最もすっきりしたフェイスに作られたルート。長さもある。下部はハング帯をなしているが、その上は終了点までフラットな面が続く。核心部はボルト3本から4本で細かいフットホールドを拾えるかどうかのカギ。

②⑨ ヌーク 5.10c B 6本 10m (東秀磯)

傾斜がなく、ホールドも多いように思われるが、意外とバランスが悪い部分が連続する。単調な外観に対して面白みのあるクライミングが体現できる。